

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年9月17日

2002年9月15日現在：

この1週間の気温は平年を2～12度上回り、各地で90度以上の最高気温を連日記録した。最低気温では35～40度以上であった。降水は殆ど無く州平均農作業可能日数は6.9日であった。2003年産冬小麦の播種の為の圃場整備が行われているが、降雨を待ち播種を控えている農家も有る。播種が遅れると、発育の早い冬の雑草に幼苗が負ける状態になる。

2002年8月1日付け農務省発表の冬小麦の生産量予想では、7月1日と全く同じである。単収40.0bu/ac(6月1日：47.0bu/ac)、収穫面積750,000エーカー、収量30,000,000ブッシェルである。春小麦の生産量予想は、7月1日より下向修正となり、単収25.0Bu/ac(7月1日：27.0bu/ac、昨年：30.0bu/ac)、収穫面積予想：155,000エーカー(昨年：175,000エーカー)、収穫量：3,875,000ブッシェル(昨年：5,250,000ブッシェル)となっている。

オレゴン州統計局からの土壌水分状況並びに春小麦収穫状況の報告が9月3日現在出されていない。

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	42	42	16	0
Subsoil (%)	41	43	16	0

作物進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5 - yr Ave.
Winter wheat Seeded (%)	3	1	0	2

Source: Oregon Agricultural Statistics Services